

目的・目標

歌舞伎は、日本の伝統芸能の一つであり、ユネスコの無形文化遺産にも登録されている総合舞台芸術である。我が国の固有の文化財である歌舞伎が将来的に海外でも根づくことは、世界における日本のプレゼンスを高めることに繋がると考えられる。今回のプロジェクトでは、国内における若手公演、舞台映像の配信、ワークショップ、海外公演のショーケースなど、あらゆる手法を講じて、歌舞伎に携わる俳優、スタッフを育成し、今後の海外展開につなげたいと考えている。過去の歌舞伎の海外公演を経験した俳優、スタッフを中心に経験豊富なクリエイターを指導者とし、育成の強化を行いたい。

概要

- ・坂東玉三郎監修の下、ロンドン等で舞踊や解説などのワークショップを実施し、歌舞伎の認知度を高める。
- ・将来的な海外展開も見据えた公演と位置付けて国内で「歌舞伎鑑賞教室」を行う。海外公演出演の経験がある俳優による指導の下、国際的に活躍できる若手歌舞伎俳優や舞台製作に関わるスタッフ、公演プロデューサーを育成する。この経験をもとに育成者、指導者協力のもと、海外での歌舞伎ショーケースを実現する。周年記念事業としてマルタまたは韓国などでの開催を目指す。
- ・海外での歌舞伎ショーケースに合わせて、英語字幕付きの特集海外配信を行う。外国人を意識した公演を新たに収録し、これらのコンテンツに英語字幕を付けて、海外展開を積極的に進める。

3年目までの取組

イギリスでの『歌舞伎衣裳展』の展示終了に合わせ、坂東玉三郎監修の下、舞踊や解説などのワークショップを実施し、歌舞伎の認知度を高める。

また、京都南座を中心に将来的な海外展開も見据えた公演と位置付けて「歌舞伎鑑賞教室」を行う。

海外での歌舞伎ショーケースに合わせて、英語字幕付きの特集海外配信を行う。外国人を意識した公演を新たに収録し、これらのコンテンツに英語字幕を付けて、海外展開を積極的に進める。

5年目までの取組

- ・国内では南座の「歌舞伎鑑賞教室」の継続と、育成中のプロデューサーのもと欧米・アジア圏を問わず国外での歌舞伎ショーケースを拡大していく。
- ・充実した海外配信作品を通じて海外での歌舞伎のプロモーションを継続的にやっていく。

中核となるクリエイターやアドバイザー

- ・坂東 玉三郎
(重要無形文化財保持者(2012年認定) 演出家、映画監督、日本藝術院会員)
- ・海外公演の経験豊富な歌舞伎俳優、舞台スタッフ、プロデューサー

育成対象者：8人

育成対象者となる、歌舞伎海外公演の構成メンバー、歌舞伎俳優、音楽家、スタッフ、制作担当は、本プロジェクトの中核者で選出する。

(分野・ジャンル)

・歌舞伎

(渡航先の国・地域)

・ロンドン、韓国、マルタ、サウジアラビア

(国内外の連携・協力体制)

・オックスフォード大学

・在外日本大使館など

成果目標（見込）

目標値

企画段階から海外公演等に登用される若手クリエイター等の数

8人

国内外の団体・企業等との連携数
(連携団体数、事業提携数、拠点形成数など)

7件

プロジェクトに関わった海外アーティスト・キュレーター等の数

10人

国内外で展開される公演・展示等の数

43回

国内外で展開される公演・展示等の入場者数

40,000人

松竹(株) 代表取締役社長

演劇本部

歌舞伎製作

公演事務局

指導者

歌舞伎俳優

音楽家

スタッフ